

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果(技術情報第12号)について(送付)
八代地域で3月18日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策を下記
のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

今年の越冬世代(幼虫+蛹)の発蛾最盛日は4月7日と予測され、発生密度は平年より
少ない。

防除は、粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安に実施する。な
お、気温条件によって羽化が前後するため、防除は7日間隔で2~3回行う。

1 調査結果の概要

- (1) 3月18日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年より高く、越冬世代成虫の発蛾最
盛日は、平年(4月12日)に比べ5日早い4月7日と予測された(表1)。
- (2) 幼虫及び蛹の密度は0.9頭/10m²(平年3.2頭/10m²)と平年比少であった(表2、図
1)。

2 防除対策

- (1) 「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に発生する第1世代
幼虫に対する防除を徹底する。
- (2) 防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にする。なお、
気温の変動によっては羽化が前後するので、発蛾最盛日から7日間隔で2~3回の防除
を行う。
- (3) 予測される発蛾最盛日は、ほ場によって差が生じるので、ほ場内の発生状況をよく観
察し、防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報(発蛾最盛日予測、予察灯データ)については、
4月から病害虫防除所ホームページ
(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>)に随時掲載する。

表1 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

| 年次 | 調査日 | 蛹化率(%) | 発蛾最盛予測日(実測日) |
|----|-------|--------|--------------|
| 本年 | 3月18日 | 25.0 | 4月7日 |
| 前年 | 3月24日 | 83.3 | 3月26日(不明) |
| 平年 | 3月26日 | 38.2 | 4月12日(14日) |

注) 蛹化率: 調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式: 調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数(傾き)」と「調査日から発蛾最
盛日までの日数係数(切片)」を用いた予測式

発蛾最盛日=調査日の蛹化率(%)×(-0.3028)+(27.31)-(31日-調査日)

実測日: 乾式予察灯(地点: 八代市千丁、鏡)で4月に誘殺のピークが見られた日

表2 イグサシンムシガ越冬調査結果（調査日：令和6年3月18日）

| No. | 市町村名 | 地点名 | 調査株数 | 被害茎数 | 幼虫数 | 蛹数 | 合計 | 頭数/10m ² (幼虫+蛹) | 茎数/株 |
|-----|------|-----|-------|------|-----|----|----|-------------------------------|------|
| 1 | 氷川町 | 中島 | 100 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2.8 | 54.2 |
| 2 | | 鹿野 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 83.2 |
| 3 | | 網道 | 100 | 5 | 1 | 0 | 1 | 2.8 | 56.2 |
| 4 | | 両出 | 100 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 75.8 |
| 5 | | 鏡村 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 70.8 |
| 6 | | 北新地 | 100 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 75.9 |
| 7 | | 古閑出 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 87.6 |
| 8 | 八代市 | 太牟田 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 72.4 |
| 9 | | 吉王丸 | 100 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 63.8 |
| 10 | | 松高 | 100 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 75.6 |
| 11 | | 金剛 | 100 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 63.8 |
| 12 | | 日奈久 | 100 | 6 | 2 | 0 | 2 | 5.6 | 60.2 |
| 計 | | | 1,200 | 20 | 4 | 0 | 4 | 0.9 | 70.0 |
| 平年 | | | 1,710 | 50 | 13 | 7 | 21 | 3.2 | |

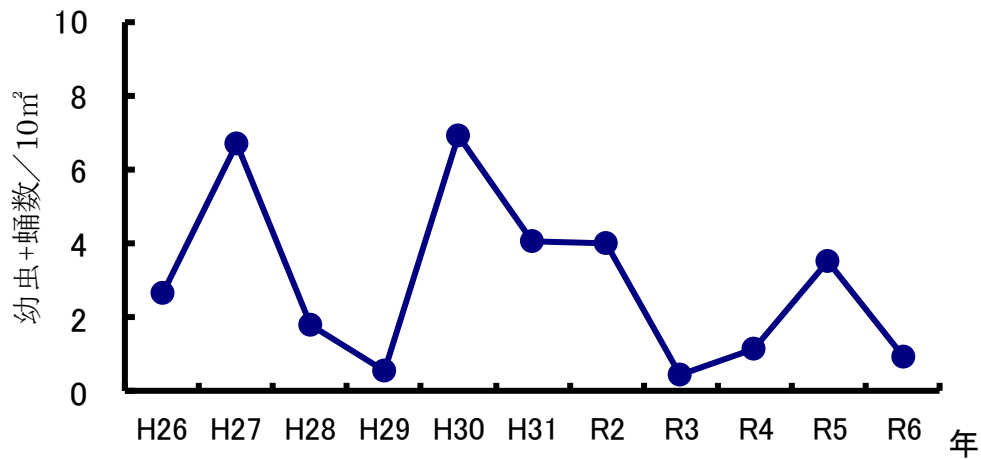


図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫・蛹密度の年次推移（八代地域）

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 （農業研究センター生産環境研究所内）
 担当：守田
 TEL: 096-248-6490